

平成30年度 事業計画書

平成30年4月1日から平成31年3月31日まで

特定非営利活動法人 手話教師センター

1 事業実施の方針

【育成】定例会を例年通り年に4回実施する。△日本手話ブラッシュアップ講座の充実化を図る。指導の様子をフィードバックすることで教師育成にあたる。△手話教授法講座(ナチュラルアプローチ講座)を2箇所(東京・大阪)で実施する。また、ナチュラルアプローチの理論等を総括的に復習する場としてステップアップ講座を今年度も開講する。
 【研修】研修会および大会は例年通り実施する。大会は、関西学院大学・手話言語研究センターと共催の形で実施する。自主研修会のさらなる活発化を呼びかける。また、手話コロキウムを実施し、研究手法について学ぶ機会を提供する。
 【派遣】エンパワーメントチームを中心に、若手が派遣される機会をさらに増やし、教師としての資質向上に努める。
 【開発】民間企業((株)アウトソーシングビジネスサービス ダブルピーグループ)と連携し、教材開発を行なう。
 【翻訳・通訳】日本手話に特化した翻訳・通訳技術向上支援事業(日本財団)がフェーズ2の2年目に入り、ろう通訳者の資格化に向けて情報収集を行ない、シンポジウムを実施する。翻訳講座(e-ラーニング講座等)、ろう通訳者養成講座、フィーター養成講座、通訳理論講座、通訳OJTプログラムを実施する。
 【啓発】ホームページ、Facebook、ツイッター等で引き続き、啓発を行なう。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(千円)
手話教師育成事業	定例会の開催	年4回	国立オリンピック記念青少年総合センター	15名	手話教師 手話教師をめざすろう者及び コーダ 手話学習者・手話通訳者 約400名	2,100
	日本手話ブラッシュアップ講座等における教師育成	年4回	国立オリンピック記念青少年総合センター	10名	手話教師 手話教師をめざすろう者及び コーダ 手話学習者・手話通訳者 約30名	
	ナチュラルアプローチ手話教授法講座への教師派遣	東京(4月～9月)・大阪(未定)	東京・大阪	6名	手話教師をめざすろう者及び コーダ 約20名	
	ステップアップ講座への教師派遣	4-7月	東京(中野)	3名	ナチュラルアプローチ講座を終了した者 10名	
手話教師研修事業	集中研修会	年に2回 5月 12月	国立オリンピック記念青少年総合センター	20名	手話教師 約120名	1,200
	日本手話教育研究大会	年に1回 7月	関西学院大学	10名	手話教師 手話教師をめざすろう者及び コーダ 約200名	
	手話教師育成指導者研修会	年に1回 2月	未定	1名	手話教師指導者 15名	
	手話教師自主研修会	通年	東京・名古屋・京都等	1名	手話教師指導者 約180名	
手話教師派遣事業	手話教師の派遣	通年	事務所	2名	手話教師30名 学生・手話学習者/一般市民 約3,000名	2,665

手話教授法に関する教材開発事業	DVDプロジェクト	通年	事務所	2名	手話教師 手話教師をめざすろう者及びコーダ 手話学習者・手話通訳者 約400名	-
翻訳・通訳に関する事業	翻訳講座(e-ラーニング講座含む)の開講	通年	池袋	3名	手話学習者・手話通訳者等 約50名	10,000
	通訳理論講座の開講	通年	東京	3名	ろう者(指導者等)・ろう通訳者 手話通訳者等 約12名	
	ろう通訳者・フィーダー養成講座の開講	通年	代々木・東京等	3名	通訳をめざすろう者、フィーダーを めざす手話通訳者 約12名	
	通訳OJTプログラムの実施	通年	東京他	3名	ろう通訳者・フィーダー 約80名	
	ろう通訳資格化プロジェクト	通年	東京他	3名	ろう通訳者・フィーダー・関係者 約100名	
ろう者特有の文化に関する普及啓発事業	手話教師センターのホームページを設置、運用	通年	事務所	2名	手話教師 手話教師をめざすろう者及び コーダ 手話学習者・手話通訳者 約400名	35